

# 萩ジオパーク

## 推進協議会だより vol.97

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年3月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

ご協力・ご来場ありがとうございました  
萩ジオパークフェア2023  
大盛況!



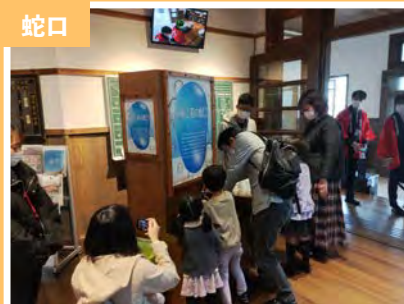
3月18日（土）に萩・明倫学舎にて『萩・ジオパークフェア2023』を開催しました。この日は朝から雨で天候が心配でしたが、開催する頃には回復。開催時間から多くの来場者で賑わいました。同日開催の「大地の遊び人養成講座」も大賑わい。合わせて1250名の来場者が萩ジオパークフェアに訪れ、大盛況に終えることができました。

縁日あそび



萩ジオツーリズム協会が『スマートボール』と『さかなつり』を行いました。お手製のスマートボールに多くの子供たちが集まっていました。遊びながら萩の食べ物が美味しいひみつが分かってもらえるとうれしいですね。

蛇口



今年も阿東の蛇口と萩の蛇口が登場！子供から大人まで蛇口から出てくるジュースを堪能していました。

食の屋台

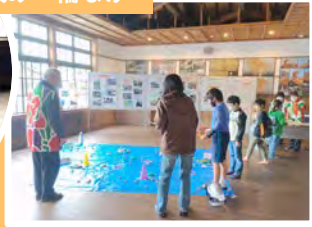


萩市食生活改善推進協議会が「おふる米コンテスト」、NPO萩元気食の会が「萩おでん」、NPOあとうが「阿東和牛の肉うどん」で出展しました。



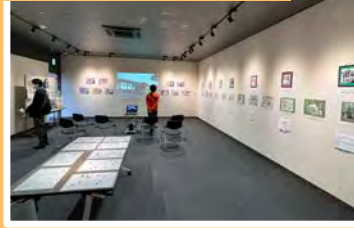


水汲み・輪なげ



天井裏見学室では、笠山ジオの会が輪なげを、見島とともに生きる会が水汲みあそびをしました。笠山ジオの会は、笠山から見える萩六島をモチーフに輪なげを作成。たくさんの方が並ぶほど、盛況でした。水汲みは、田んぼの周りに川のない見島の伝統的な稲作の際の手法で、その疑似体験を見島とともに生きる会がおこない、家族で協力しながら体験していました。

須佐中学校 特別展示



今年度の萩市ジオパーク活動補助金を使って、ふるさとの魅力をPRするプロジェクトを行っている須佐中学校が3号館のギャラリー展示室で特別展示を行いました。

大地の遊び人養成講座



『大地の遊び人養成講座』を萩・明倫学舎駐車場で同日開催。竹串を作ったり、薪を割って火をおこしたり、子ども連れの家族で賑わっていました。

## 地球を食べる食堂 @オンライン 「阿武火山群と無角和種」実施しました

放牧場から中継



3月25日（土）、阿武町で育てられている希少な和牛“無角和種”を題材にバーチャルツアーやクッキング教室を通して、大地の視点、生産者さんの視点、料理人の視点からじっくり味わうオンライン講座「地球を食べる食堂@オンライン 阿武火山群と和牛・無角和種」を開催しました。

講師は阿武町地域おこし協力隊の藤尾凜太郎さんと白井専門員が務め、まずは事前にお送りしたお肉で美味しいステーキの焼き方を教わりました。その後、無角和種の放牧地からの中継で土地の自然や歴史・文化と向き合う生産者の工夫や思いに触れ、最後に土地の成り立ちについて、実験を交えて解説を受けました。途中でも出てきた質問や感想などにも応えていただき、楽しい時間が過ぎていきました。

大地を生んだ地球の営み、大地と向き合う生産者の知恵と技、そして食材を調理する料理人の知恵と技の掛け算が提供する、大地と人のつながりを楽しむフルコースを皆さん堪能していました。令和5年度も様々な体験を提供します。お楽しみに。

スタジオでの対談





## 長門峡ガイドウォークが開催されました

3月7日に山口市と萩市にまたがる長門峡が、国指定名勝になって100周年を迎えました。それに先駆け、3月5日に山口市主催イベント「長門峡ガイドウォーキング」が開催され、白井専門員がガイドを務めました。まずは室内で、長門峡の成り立ちを断層の模型や火山噴火実験を交えながら学んでいただきました。準備が出来たら1億年の物語に思いを馳せながらウォーキングに出発です。活断層を観察し、二つの川が合流の様子を眺めたあと、瀬と淵を繰り返してリズムカルに変化する水の音を聞きながら渓谷の道を進みました。垂直に切り立つ崖が印象的な「千瀑洞口」まで片道約30分のコースです。最後には、長門峡の保全に尽力した高島北海が最初にこの地を訪れた時に言ったという「此の地に入り只恍惚として人を麻痺させしむ」という言葉をご紹介しますツアーは無事に終わりました。



## 山口市嘉年（かね）で講演しました



山口市嘉年の「防災の集い」という行事の中で講演を、とお声がけいただき、3月7日、白井専門員が「嘉年の大地と人の縁結び」と題して実験を交えながらお話ししました。嘉年は、寒暖差が大きい山奥でありながら比較的広い平地があり、上質なお米が育ちます。農業を基盤に古くから栄え、たびたび戦の舞台となった地でもあります。そんな嘉年は、火山や断層の活動が生んだ特徴的な地形の影響を受けて幾度となく氾濫をくり返す川が、大地を作り続けています。大地の営みは“災害”と呼ばれることもありますが、それなくして地域の特徴的な文化や産業は生まれません大切な営みでもあります。そんな大地と人の縁を大切にしたいですね、というお話で終わりました。

## ABUキャンプフィールド1周年！ モドロ岬クルージングにガイド乗船しました

阿武町に昨年オープンしたABUキャンプフィールドが1周年を迎えました。それを記念して3月11日と12日にイベントが開催され、マルシェや体験プログラムでにぎわいました。

1日目の体験プログラムの1つ「漁船で行く日本海クルージング モドロ岬見学ツアー」には、白井専門員が特別にガイドとして乗船しました。波がほとんどない最高のお天気の中、約1億年前の大陸の地層や、超巨大火山の地下でできた奇妙な水玉模様などの最高の景色を堪能していただきました。





## 萩ジオツーリズム協会より 令和4年度萩市ジオパーク活動補助金事業の報告です！

3月5日にモニターツアー「ジオガイドと歩く萩城跡の裏道散歩」を午前の部は10時から、午後の部は14時から実施しました。今回は、萩城址の内堀周辺を歩き、石彫公園から西の浜へ向い、海岸を歩き、最後に日本海を見ながら野点を体験しました。各回定員12名に対し、午前の部が11名、午後の部が12名の参加があり、参加者はとても楽しんでおられる様子でした。



## 4月1日以降の笠山山頂展望台の管理運営について



令和3年5月1日にリニューアルオープンしました笠山山頂展望台にあるカフェ兀兀が3月26日で閉店いたしました。4月1日以降は萩ジオパーク推進協議会が、3階展示休憩室とあわせて愛称「鳩の巣」として管理運営することになりました。

ゴールデンウィークまでにはカフェをオープンできるよう準備を進めています。しばらくの間ご不便をおかけしますがご理解とご協力のほどよろしくお祈いします。なお、3階展示休憩室は休館日をのぞいてこれまでどおり開館します。

## 日本ジオパークネットワーク事務局よりお知らせです！



萩ジオパーク白井専門員が制作を担っているYouTube番組『へんさん！にっぽんジオパーク風土記』（<https://geopark.jp/fudoki/>）の新作「土佐清水ジオパーク編」の前編が公開されました！是非ご覧ください。



## 4月の予定

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 4月15日（土） 内容：奈古トラバーチンの川をみて、須佐高山へ 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）